

1982 to 2022

40th

ANNIVERSARY

GONE→
UNITED
CORPORATION



ユナイテッド計画株式会社

設立40周年記念誌



経営理念

知恵をしほり最善を尽くせ。
それは常に可能である。

CONTENTS

目次	1
CEOあいさつ	2
40年の歩み	3-4
持続可能な社会の実現を目指して	5-6
2号焼却熱回収炉の紹介	7-8
当社の事業	9-10
社員紹介	11-14
働く環境と制度、新社屋紹介	15
数字で見るユナイテッド計画	16
役員・社員一覧	17
会社概要・組織図・事業所地図	18

ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ユナイテッド計画株式会社は、本年5月20日に、法人化40周年を迎えました。この記念すべき節目の年を迎えることができましたのは、これまでさまざまな形で弊社の事業を支えてくださった取引先の皆さま、地域の皆さまのおかげであり、心より感謝を申し上げます。

弊社は1965年、建設資材の運搬を手掛ける「平野産業」として潟上市昭和で創業しました。70年に建設業へ参入、82年に「平野建設」として法人化しました。その後、産業廃棄物処理業、再生可能エネルギー事業に参入し、現在に至ります。

この40年間で世の中は大きく変化し、企業は利益や利便性を追求しながらも、社会課題の解決や持続可能な社会づくりに取り組むことが求められるようになりました。弊社はこれからも、環境配慮型のさまざまな事業を通じて社会のために何ができるかを考え続けてまいります。

今後とも、なお一層のご支援とご厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。

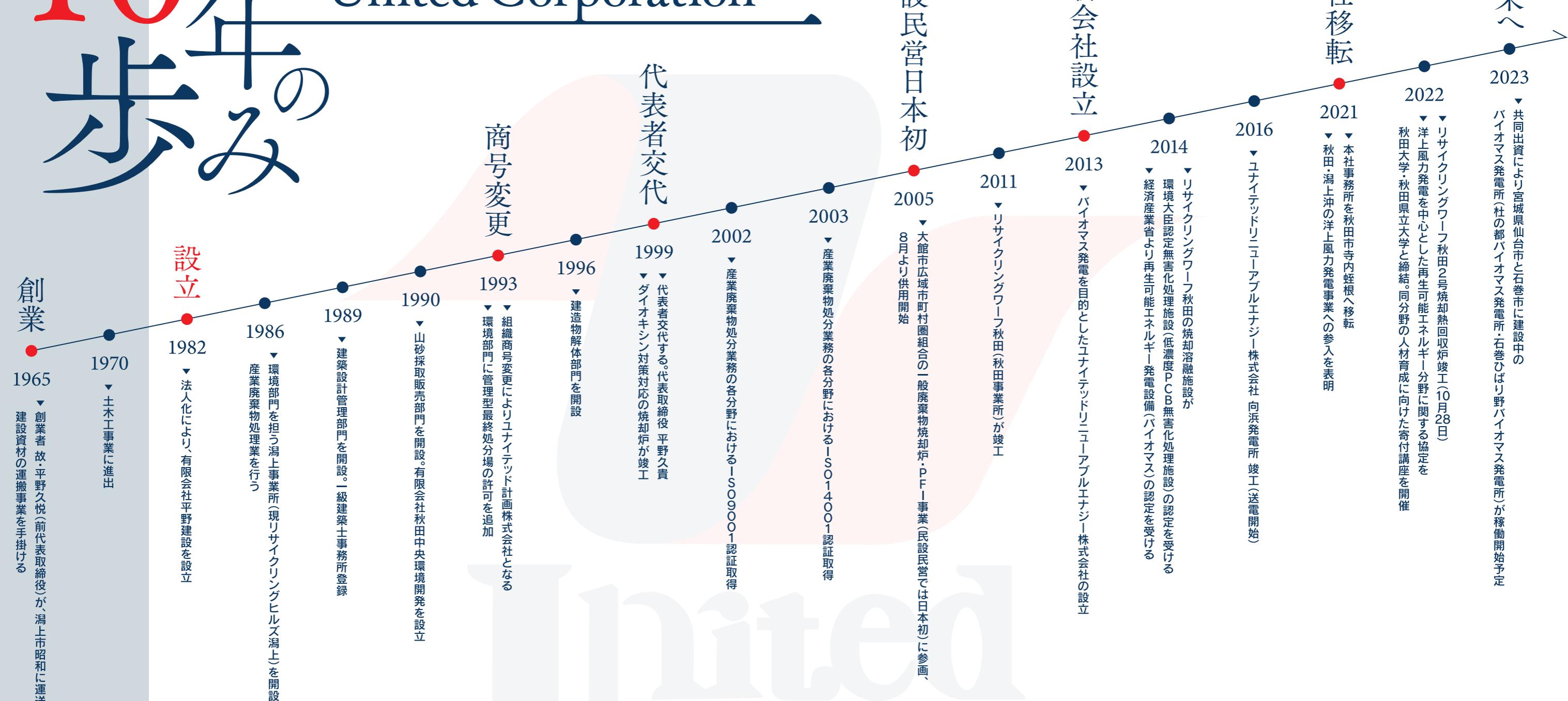


ユナイテッド計画株式会社
代表取締役CEO

平野 久貴

40年歩みの

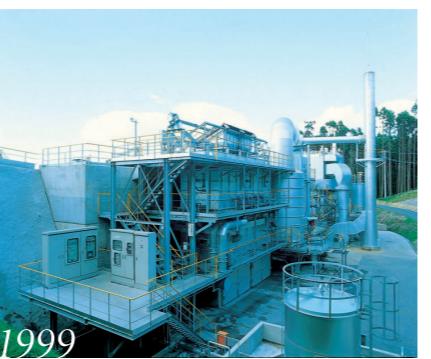
The History of United Corporation



故・平野久悦(前代表取締役)が平野産業を創業
※写真は2011年撮影



湯上事業所を開設
※写真は2006年撮影



ダイオキシン対策対応の焼却炉が竣工



リサイクリングワーフ秋田が竣工



向浜発電所が竣工



本社が秋田市寺内に移転

そして未来へ
●
2023

持続可能な社会の実現を目指して

平野久貴 代表取締役CEO

全国初のPFI、環境事業へ転換

弊社は今年、法人化から40周年を迎えました。社史をさかのぼると、創業は1965年。創業者である私の父が建設資材の運送業を興したことから始まります。70年には建設業に乗り出し、82年に平野建設という商号で法人化しました。

86年には産業廃棄物処理業に参入。廃プラスチック類や、がれき類などを埋め立てる安定型最終処分場を設けました。その後、不法投棄などが社会問題となり、産業廃棄物処理の重要性が注目されるようになりました。そこで弊社は、浸出水処理施設を備えた管理型最終処分場を93年に開設。埋め立てにより発生した排水を集めて浄化し、環境基準に適合した水に変えて放流する設備を導入しました。この管理型最終処分場の開設は、環境分野で飛躍を遂げる上で、最初の大事業となりました。弊社の事業をご理解いただき、共に向き合ってくださった地元の皆さんに、心より感謝申し上げます。おかげで弊社は地域に根差して長く事業を続けてこられました。

90年代後半は、廃棄物焼却により発生するダイオキシンの環境汚染が全国的な問題になりました。弊社は99年、ダイオキシン対策を講じた焼却炉の許認可を秋田県からいただきました。2005年からは日立造船、丸紅と共に大館周辺広域市町村圏組合の一般廃棄物処理事業を担っています。PFI方式によるごみ焼却炉の整備は、全国で初めての事例となりました。

この事業により、弊社は民設民営の施設整備や資金調達のノウハウを得ることができました。この経験を生かし、11年に秋田市向浜でPCB対応の大型焼却溶融炉「リサイクリングワーフ秋田」を稼働させました。焼却の際に発生した熱で発電を行い、エネルギーとして回収するプラントです。東日本大震災の直後には、仙台エリアをはじめとした被災地の廃棄物処理も請け負いました。16年にはプロジェクトファイナンスによる資金調達に挑戦し、バイオマス発電に乗り出しました。これらの事業を通じて、弊社は環境分野に大きく舵を切ることができました。05年・11年の経験がなければ、大事業は成し得なかっただと思っていました。

持続可能な社会の形成に貢献

国連が19年に採択したSDGs(持続可能な開発目標)は、今や広く認知されています。振り返れば、弊社がこうした持続可能な社会づくりを意識するようになったのは、11年のリサイクリングワーフ秋田の運転開始の頃だったと思います。そのリサイクリングワーフ秋田は、22年10月に2号炉の運転開始を迎えます。また23年には宮城県石巻市と仙台市で、弊社が出資する大規模バイオマス発電所が稼働する予定です。

この40年間で弊社は、建設業から廃棄物処理や再生可能エネルギーを手掛ける企業へと変革を遂げてきました。建設を含むさまざまな大規模事業は、今や環境調和型であることが重視されるようになりました。弊社は、地元に住む皆さんと向き合い、その不安を取り除くために環境配慮を重視してきました。さまざまな技術を取り入れ、時に弊社の経営規模を超える大きな投資も行いました。弊社がここまで発展できたのは、ひとえに地域の皆さんのおかげだと思っています。

企業は、利益を上げて事業を発展させながら、環境問題をはじめとした社会的な課題の解決に取り組まなければなりません。適正な利潤をしっかりと生み出し、環境にも投資を行っていく。この両立が大切です。取引先の皆さんと従業員のために事業を存続させることにまい進する一方で、事業を通じて社会のためにどうあるべきかを考え続けてまいります。

若者から選ばれる企業を目指す

40周年の節目を迎えるにあたり、これからは若い人たちに、弊社のチャレンジ精神を伝えたいと考えています。私はいつも社員に「一企業人である前に、誠実な社会人であるべきだ」と伝えています。これは私自身の目標でもあります。十分なリスク管理を行いながら、皆さんに対して誠実であり続けることで、事業がうまくいくと信じています。

人口減少が進む秋田県の経済を維持するには、企業1社1社の踏ん張りが欠かせません。若者が集まる地域をつくるには、そこにある企業が良質でなければいけません。若者から選ばれる企業になることを目指していきます。

政治や経済の一極集中は顕著ですが、日本を支えているのは地方であり、中小企業です。地方企業の存在の重要性をしっかりとアピールしなければなりません。弊社は数年以内の上場と、洋上風力発電事業への参入を目指しています。挑戦者として秋田に根差しながら、大都市圏を含む全国各地へと事業展開を図ってまいります。





2号焼却熱回収炉 (バイナリー発電)

2022年10月28日 竣工



2号焼却熱回収炉(バイナリー発電) 概要

▶ 所在地

秋田市向浜(リサイクリングワーフ秋田)

▶ 形式

ストーカ式

▶ 処理能力

90t／日(混焼時)

▶ 発電能力

20kW

▶ 許可品目

燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・動物系固形不要物・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・がれき類・ばいじん・自動車等破碎物・感染性廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物・水銀含有ばいじん等



事業内容

資源に変える智恵、エネルギーに変える力

ユナイテッド計画の産業資源循環・再生可能エネルギー・建設事業は、1982年の設立以来変わらず、産業廃棄物処理・リサイクル・サーマルリカバリー、再生可能エネルギーの開発・運営で強みを持っています。あらゆる産業と親和性が高く資源循環分野で活躍します。産業資源循環・再生可能エネルギー・建設事業はユナイテッド計画が40年の専門知識を持つ会社として、常に先駆的なイノベーションによって産業と環境の融合を推進し、可能な限り持続可能なビジネスプロセスに貢献して参ります。



環境への負荷を最小限に抑え、各事業を循環させながら持続可能な成長を続けます。



産業廃棄物処理・処分

Industrial Waste Management

経済活動の中で必ず生じる産業廃棄物を適切に処理・処分することは、持続可能な社会を実現する上で必要不可欠なステップです。環境に配慮した焼却溶融炉や低濃度PCB無害化処理施設など、先進技術を備えた各種施設で、経済の健全な発展を下支えしています。

リサイクリングワーフ秋田



コンセプトは“持続可能な工場づくり”。あらゆる廃棄物を確実に処理・リサイクルできるだけでなく、最高の環境基準を維持できる機能を備えたプラントです。

リサイクリングヒルズ潟上



産業廃棄物の中間処理から最終処分まで。厳しい基準の下、環境負荷を最大限低減し、コントロールできる処分場と浸出水処理施設を備えた管理型最終処分場です。

保有車両



固体物から液体まで、さまざまな廃棄物に対応できる車両を配備。秋田県内にとどまらず、東日本全域あるいは日本全国からの収集・運搬を行います。

建設・解体

Construction and Demolition

河川や道路などの土木舗装工事を通じて社会インフラの構築を担うとともに、店舗、共同住宅、工場など、多種多様な建物の解体にも取り組んでおります。解体は決して終わりではなく、新しい街づくりへの第一歩です。解体で生じた廃棄物は、当社の環境資源循環部で新たな資材へ姿を変え、社会インフラとして利活用されています。

低濃度PCBトランス解体



PCB（ポリ塩化ビフェニル）は、トランス（変圧器）などに幅広く使用されてきましたが、現在は有害物質として全廃されています。数多くの実績で積み上げたノウハウを背景に、安全かつコンパクトに解体します。解体だけでなく収集運搬、処分まで一括して行います。

ビル・店舗解体、木造建造物解体



5階建高層ビル（22m）まで施工可能な最新の重機を揃えております。解体後のコンクリート殻は再生砕石として活用します。木造建造物は「分別解体」を徹底するために、内装材等を撤去し、木材だけにしてから躯体を解体します。分別回収した材料はリサイクル材として再利用します。

土木・舗装工事



社会資本の整備を通して、地域社会に貢献します。

再生可能エネルギー

Renewable Energy

「環境負荷低減を緑（環境）の利益と捉え、産業と環境の融合を推進する」との環境方針の下、基幹事業の一つとして、バイオマスを中心とする再生可能エネルギー資源による発電事業を進めています。

向浜発電所



所在地	秋田市向浜
操業開始	2016年7月
事業内容	バイオマス発電
発電出力	2万500キロワット
年間発電量	1億4000万キロワット時（一般家庭4万世帯分）
燃料	秋田県産未利用材（7割）、PKS（3割）
事業主体	ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社

当社のほか、フォレストエナジー株式会社、株式会社レノバの出資により設立されました。ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社が運営します。燃料は木質チップとPKS（バーム椰子殻）の2種類。うち7割は秋田県産の木質チップが占めています。現在、一般家庭の約4万世帯分、秋田市全体の約1/3の使用量に相当する電力を発電しています。

杜の都バイオマス発電所



所在地	宮城県仙台市（仙台港）
操業開始	2023年予定
事業内容	バイオマス発電
発電出力	7万5000キロワット
年間発電量	5億5300万キロワット時（一般家庭約17万世帯分）
燃料	木質ペレット、バームヤシ殻（PKS）
事業主体	合同会社 杜の都バイオマスエナジー

当社のほか、株式会社レノバ、みずほリース株式会社、住友林業株式会社、RenoDaパートナーズ合同会社の出資により設立されました。合同会社「杜の都バイオマスエナジー」が運営します。約5万平方メートルの敷地にボイラーや蒸気タービンなどの設備を整備します。建設地からほど近い仙台港を使って輸入する北米の木質ペレットと東南アジアのPKS（バーム椰子殻）を燃料に発電します。

石巻ひばり野バイオマス発電所



所在地	宮城県石巻市（石巻港）
操業開始	2023年予定
事業内容	バイオマス発電
発電出力	7万5000キロワット
年間発電量	5億5300万キロワット時（一般家庭約17万世帯分）
燃料	木質ペレット、バームヤシ殻（PKS）
事業主体	合同会社 石巻ひばり野バイオマスエナジー

当社のほか、株式会社レノバ、東京ガス株式会社、みずほリース株式会社の出資により設立されました。合同会社「石巻ひばり野バイオマスエナジー」が運営します。建設地は石巻市の港湾地区にある工業団地内の約4ヘクタールで、ボイラーや蒸気タービン、発電機、排ガス処理設備などを整備し、北米の木質ペレットと東南アジアのPKS（バーム椰子殻）を燃料に発電を行う予定です。



社員紹介

私たちの仕事
私たちの想い



保坂慎也

HOSAKA Shinya

2009年入社

環境資源循環部 リサイクリングワーフ秋田 所長

秋田市出身。中途採用で入社し、産業廃棄物中間処理施設リサイクリングワーフ秋田の立ち上げに参画。リサイクリングビルズ湯上主任、リサイクリングワーフ秋田副所長を経て、所長として施設の運営管理に携わる。

躍進する今こそ重要なフェーズ

■ 巨大な炉を滞りなく動かし続ける

リサイクリングワーフ秋田を立ち上げるタイミングで入社しました。電子部品製造業に10年ほど従事していましたが、不景気のあおりを受けて転職を決意。もともと機械や重機のオペレーションに興味があったので、仕事に必要な資格を自分で取得して入社し、プラント竣工に向けて準備から携わりました。今は所長を務めています。初期のメンバーでここに残っているのは、私だけになりました。

おもな役割は、産業廃棄物中間処理場の核となる焼却融解炉の運営管理。原価、搬入処理在庫、運転、修繕など業務全般の管理を担当します。自分たちできることは何でもやるのが基本なので、現場の作業や修理もこなします。プラントは24時間365日稼働。もし不具合などで炉が止まると、廃棄物処理ができずに在庫が溜まるので、極力動かし続けたい。出社後は炉に直行して、運転音に異常がないか耳で確かめるのが毎朝の日課です。



■ 自社で生み出した理想的なサイクル

当社の特徴は、産業廃棄物処理のみならず、解体、収集、リサイクル、発電など、事業の全てがひとつに繋がり、自社で完結できること。大きな意味がありますし、担当部門が違っても、連携して仕事がスムーズに進められます。また、自社で所有する機械や重機も揃っています。個人的に、この仕事に向いていると思うのは、普段から機械や車をいじったり、修理したりするのが好きな人。免許さえあれば、どんな機械でも動かすことができます。

最も印象に残っているのは、東日本大震災の日の出来事です。プラントが竣工したのが2011年2月、翌月の3月11日は、メーカーさんとの会議中に地震が発生しました。高温の回転炉は緊急停止すると歪んでしまいます。あの日は手引書を片手にみんなで現場を走り回り、復旧法を実践して何とか危機を回避しました。この経験を教訓に、現場担当者は全員対応法を覚えて安全体制を整えています。だから緊急時の対応はいつも迅速です。



佐藤貴大

SATO Takahiro

2011年入社

環境資源循環部 リサイクリングワーフ秋田

事業開発技術グループ マネージャー

横手市出身。デスクワークを主体しながら、新事業の開発や働きやすい環境づくりに尽力している。

「この会社でよかったです」と胸を張れる

■ 産業廃棄物に対するイメージが変わった

秋田生まれの秋田育ち。秋田県内で就職活動をしていた頃に、ユナイテッド計画のことを知り、当時建設中だったリサイクリングワーフ秋田を見学しました。正直に言えば、当時は産業廃棄物処理に対して、あまりいい印象を持っていませんでした。しかし、廃棄物を処理した熱を利用して発電を行うなど、環境にも充分に配慮していること聞き、それまで抱いていたイメージが一新。プラントの稼働開始とともに、私もここで社会人のスタートを切りました。

1年目はプラントの運転に携わり、2年目以降は、施設の維持管理業務を担当しています。身体を動かすというよりは、パソコンに向かって許認可申請や報告書づくりが主な仕事。新たな設備投資や

新事業を開発する際は、各自治体と打ち合わせしながら申請書を作成します。行政からの許認可が下りて、初めて工事に着手できるんです。たとえば、2号焼却熱回収炉の建設には、着工までに2年近くの歳月を要しました。



■ ミッション達成までの長い道のり

成果が見えづらい業務ですが、許認可が下りた時の達成感は、言葉にならないほどです。初めて担当した申請業務は、低濃度PCBの無害化処理施設。副社長のサポートを担当しましたが、環境省に申請を提出する前に事前準備をするため、2年間は毎週のように東京へ出張したり、泊まり込みで書類を直したりしました。努力の甲斐あって、特殊PCBの処理に関しては、北は北海道から南は沖縄・石垣島まで、全国各地からの実績をいただきました。

申請をスムーズに進めるために、心がけているのは「行政担当者にわかりやすい文章で書類をまとめる」と。私を含む技術管理室の担当3人が、上司のチェックを受けながら、社内で何度も推敲します。こうした申請業務は、行政書士やコンサルタントに依頼する企業も少なくありません。でも当社は「うちでできることは自分でやる」方針です。文書作成においては彼らの方がプロですが、私たちは現場を知る者たちでこの仕事を担当しています。



齊藤博信

SAITO Hironobu

2005年入社

建設解体部 工事グループ グループ長

大仙市出身。入社後2年目より建設・解体部門に所属。2017年からは、グループリーダーとして秋田県内外で施工する数多くの解体現場で指揮をとる。

新しい挑戦をあきらめない

■ 社会に必要とされる仕事に携わる

大学時代は建築工学を専攻していました。地元秋田での就職を考えていたところ、教授から紹介を受け、ユナイテッド計画に入社しました。産業廃棄物を取り扱う企業なので、環境と密接した仕事に携わることができる。そして、この業種は社会に必要とされながら、今後さらに伸びていくだろうと思ったんです。学生の頃に学んだ構造の力学や材料の知識は、今に活かされています。



現在は建設・解体部門でグループ長をしています。仕事内容は、解体工事の積算見積の作成、受注したあとの施工管理(安全、工程、品質、原価)など。デスクで書類をまとめながら、現場に立って指示を出します。解体といつても、ブロック解体一つに始まり、木造、鉄筋コンクリート、店舗、共同住宅、工場など、その規模や種類はさまざま。最近は高さ50メートルの鉄塔を解体しました。工事スケジュールは天候に左右されるので、天気予報をこまめにチェックするのも重要な任務です。

■ 何においても、安全第一に

最も心がけているのは、現場の安全管理。解体工事の現場に初めて立った頃、安全の大切さを教えてくれた方がいました。それを今でも心に留めて毎日の仕事に向き合っています。



「安全第一」という言葉があるように、何においても安全が最優先。解体では、似ているような現場はあっても、同じものは一つも無いですから。仲間にはケガをして欲しくないので、一つのことに対するリスクを減らしながら、安全を守るよう努めています。

初めてのお客様に依頼された工事を安全に事故なく終えて、また次の依頼を受けた時が一番嬉しいです。これからも信頼関係をきちんと築いた上で、お客様と繋がっていきたいですね。

また、解体工事で出てきた大量の廃棄物は、分別された後、当社の中間処理施設に運搬され、再資源化されます。ユナイテッド計画の中で、循環のサイクルを生み出し、環境に貢献できるという点は、企業の大きな強みでもあるし、そこに携われる私自身、とても誇りに思っています。



添川聰平

SOEKAWA Sohei

2016年入社

ユナイテッドリニューアブルエナジー 副所長

大館市出身。ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社の設立年に入社。2021年春、29歳で副所長に就任した。



畠山大夢

HATAKEYAMA Hiromu

2021年入社

営業部

男鹿市出身。入社時より第二営業グループに所属し、建設・解体や産業廃棄物処理部門の営業を担当する。



高橋優希

TAKAHASHI Yuki

2021年入社

経営管理部

秋田市出身。本社の経営管理部で受付をはじめとする、会社の窓口を担当している。



保坂彩菜

HOSAKA Ayana

2019年入社

経営管理部

秋田市出身。入社時より旧本社の経営管理部で受付窓口を担当。2021年5月より、リサイクリングワーフ秋田にて受付業務に従事。その後本社経営管理部で経理を担当している。

秋田産電力で環境と地域のために

■ 燃料の7割は、秋田の森林から

ユナイテッドリニューアブルエナジーは、ユナイテッド計画が出資するバイオマス発電所です。大学時代は宮城で過ごしましたが、就職するなら秋田に戻りたいと思っていました。企業情報を調べる中、秋田県内にバイオマス発電所が新設されることを知り、見学したのが入社のきっかけです。以前から興味があった再生可能エネルギー分野の仕事に、初期段階から携われることに魅力を感じました。



現在はプラントの副所長を務めています。バイオマス発電の燃料となるのは、木質チップとPKS(バーム椰子殻)の2種類。うち7割は秋田県産の木質チップが占めています。木質チップによる発電は、PKSよりも高い価格で電力会社に売れます。私の主な仕事は、より収益性の高い発電を行うため、燃料のやりくりをしながら効率よくプラントの運転管理をすること。このほか、万一のトラブルに対応や、施設見学の案内なども担当しています。

■ 秋田市の1/3の電力をまかなうまでに

現在、当社では一般家庭の約4万世帯分、秋田市全体の約1/3の電力をカバーしています。新しい発電所なので、操業開始当初は、プラントの運転経験がない社員がほとんどでした。みんなで一から勉強して、技術の習得や解析を繰り返して今に至ります。何事においても自分たちで考え、改善しながら運転の効率を上げ、よりよい職場環境をつくっていこうする人たちが集まっているのは、日々の仕事をする上でとても心強いです。

バイオマス発電で燃料に使う木質チップは、秋田県内各地域の林業者らと契約を結んで調達します。その購入総額は年間で約17億円。再生可能エネルギーには、20年間の固定買取価格制度が適用されるので、私たちが稼働する限りは秋田の林業における需要を長期的に創出できます。この仕事を通じて森林資源を有効活用する「秋田産電力」を生み出すだけではなく、秋田県全体の経済活性化の一端を担えることを誇りに思っています。

目に見えるかたちでSDGsと地域に貢献

■ 産業廃棄物処理業の可能性に触れる



学生時代を栃木県で過ごし、卒業後は秋田で就職したいという気持ちが強かつたので、秋田県のUターン事業で紹介を受けて、当社のインターンシップに参加しました。この時、当時の担当者で今の上司が、初めて知る産業廃棄物処理業の魅力や可能性について熱心に教えてくれました。私が関心を持つSDGsの環境面での取り組みが目に見てわかること、仕事を通じて地域に大きく貢献できることなど、自分が将来的に携わりたかったことと一致したのが入社のきっかけです。

現在は、県内外の解体と産業廃棄物処理の営業を担当しています。おもにハウスメーカーや工務店、産業廃棄物処理業のお客様からの相談や依頼を受けて現地調査を行い、見積書・契約書を作成します。依頼案件は幅広く、現場ごとに違います。最後まで責任を持って対応するよう心がけ、お客様からのご要望以上の提案を出して満足いただけた時が一番嬉しいです。

■ 初心を忘れず、日々を積み重ねる

特に印象深い出来事は、入社3か月目に、お客様と初めての契約を結んだ時のこと。それまでは上司同伴で動いていましたが、自ら手を挙げ一人で営業を担当しました。ベテランの営業マンならスムーズにこなせる仕事です。しかし、新人だった私は、社内で上司に何度も質問を投げかけたり、アドバイスを受けたりしながら数日の時間をかけて、契約を成立させることができました。この時の苦労や経験が、今の仕事に対する自信とモチベーションに繋がっています。

また、小学校から大学まで続けていたラグビーも、今の仕事に活かされていると感じます。部活動では日々こつこつと練習を積み重ね、誰かのために自分の全力を發揮できるよう鍛えられました。現在の業務でも心構えは同じです。一日にひとつは何か新しいことを学び、反省から次の課題を見つけ、少しずつ実績を積み重ねながら、いずれは大きな力となれるよう努力しています。



なりたい「自分」を想像してみる

■ 働きながら、多くを学べる職場

入社したきっかけは、商業高校で取得した日商簿記やパソコンの資格を活かせると思ったからです。それ以上に、入社後も働きながら自分自身に必要な資格を取得してキャリアアップできるというのが一番の魅力でした。



現在は、経営管理部で受付、接客、電話応対、請求業務のほか、産業廃棄物を処理する際に扱うボックスの手配業務などを担当しています。入社1ヶ月後に今の新社屋に移りました。開放感いっぱいの事務所にパーテーションで一人ずつ仕切られたワークスペースがゆったりと広く、自分の仕事に集中できるので、とても気に入っています。

また、中学・高校時代は吹奏楽部に所属していました。演奏と同じくらい挨拶を重視する部だったので、今でもお客様や社員と接する時は、いつも笑顔で気持ちのいい挨拶ができるよう心がけています。日々の業務からも学ぶことが多いく、社会人になったんだな、とあらためて実感しています。

■ 「ありがとう」が私の原動力

入社してから「いいな」と思ったのは、社員同士の協力体制がしっかりとっているところ。お客様への対応で万一事あることがあっても、先輩たちが丁寧に解決のヒントを提示してフォローしてくれるおかげで、いつも助けられています。



また、解体部門には、私の父と同じ年代の方も多く、年齢が離れているせいか、皆さん気さくに話しかけてくれるので職場は和やかな雰囲気です。当たり前のことなのかもしれません、入社当初ははじめてのことだからで、緊張しましたし、「何もわからない今までいいのかな?」と悩むこともあります。少しづつ「できる」ことが増えていくにつれて、仕事がどんどん楽しくなってきました。今いちばんやりがいを感じるのは、社員やお客様たちから「ありがとう」と言わされた時。頼まれごとが多い受付業務で、その仕事をミスなく処理した上で、皆さんからかけていただく温かい言葉が私の原動力に変わります。

人とチャンスに恵まれています

■ 未来に貢献できる仲間になりたい

高校生の頃に参加した企業説明会でユナイテッド計画を初めて知りました。この時、産業廃棄物処理、再生可能エネルギー、バイオマス発電などの大規模事業を通じて環境負荷の低減や地域経済の発展に取り組んでいる企業の役割や未来のビジョンについてお話を伺いました。この先上場を目指すという大きな目標を達成するために、私も一緒に貢献してみたいと考えようになったのが、入社の動機です。

入社後に配属されたのは、潟上市にある旧本社の経営管理部です。はじめの2年間はここで受付業務を担当。リサイクリングワーフ秋田で2ヶ月ほど勤務し、新社屋の経営管理部に戻りました。それまではずっとお客様と対面で仕事をしてきましたが、今はパソコンに向かう経理の担当に。商業高校で日商簿記2級を取得していたので、経理になって初めて自分が学んだ知識を役立てられることが嬉しいです。

■ 毎日の仕事で見つけたよろこび

これまでの仕事で最もやりがいを感じたのは、リサイクリングワーフ秋田での受付業務です。配属期間は短かったけれど、本社での受付とは勝手が違いました。お客様が運搬してきた廃棄物を計量して、種類別に場所を案内するのも私の仕事。1日に運ばれてくる廃棄物の総量は平均で80トンです。仕事量が多かつたので、トラックの運転手さんをお待たせしてしまうこともありました。手早く対応できるようになって「ありがとう」とと言われた時の達成感はひとしおでした。

また、最近の話になりますが、本社に戻つてから、旧社屋の受付で以前担当していたお客様と電話でお話しする機会がありました。その方は、「保坂さん、お久しぶりです!」と、私の名前やどんな感じで接客していたのかをよく覚えてくださっていました。自分が気づかないところで仕事をきちんと見てくれている方がいると思えば、大きな励みになりますし、気持ちも引き締まります。



新しくなった本社

2021年5月、本社事務所を鴻巣市から秋田市に移転しました。

新社屋は「リサイクリングワーフ秋田事務所」と関連会社の「ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社」がある秋田市向浜工業地帯からほど近い場所にあります。今後のさらなる事業拡大に向けて、機能を同じエリアに集約しました。

各部署のチームが連携してコミュニケーションを取り、効率的に業務がこなせるよう、オープンスペースを多く設けています。



大会議室

最大で約100人収容できる大会議室。ここでは全社規模での会議や式典などを行っています。このほかにも中会議室・小会議室が全部で5室あります。



事務室（共有スペース）

開放感たっぷりの共有スペース。チーム別の打ち合わせや軽いミーティングに便利なラウンドテーブルやスタンディングテーブルも完備。気分転換に場所を移動して仕事することもできます。



エントランス

木の温もりを随所に散りばめたエントランスは、広々として落ち着きのある空間に。いつでも気持ちよくお客様をお迎えします。



事務室（ワークスペース）

個々のワークスペースには、L字型の大きなデスクとパーテーションを設置。一人あたりのスペースがとてもゆったりしており、しっかりと自分の業務に集中できます。



カフェ

従業員に人気のカフェテリア。ここでランチをしたり、休憩したりします。仕事には関係ないおしゃべりも大切なコミュニケーションの時間。気分をリフレッシュするのに最適な場です。

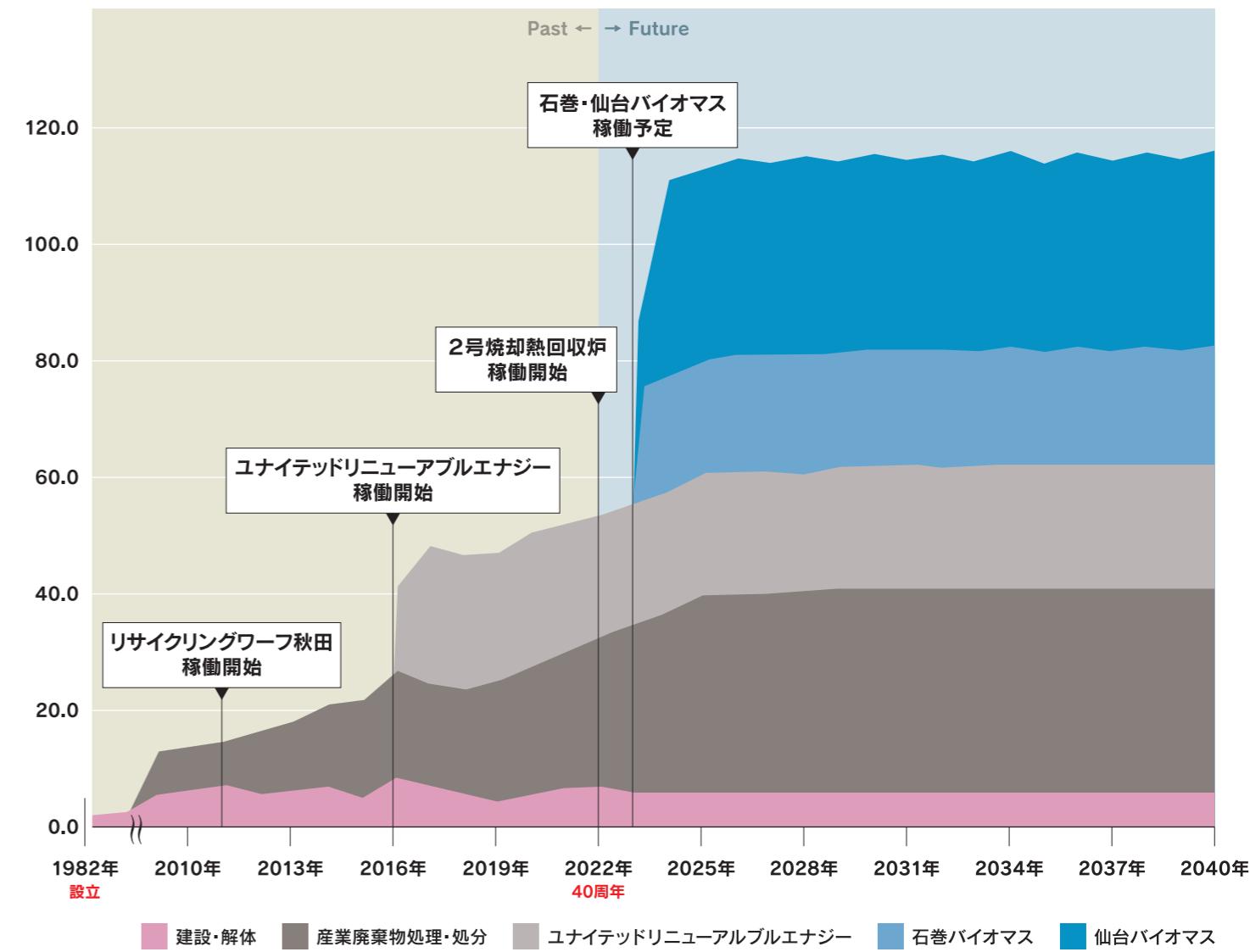


屋上

辺り一面を見渡せる屋上は、晴れた日の憩いスポット。空が澄んでいる日には、ここから鳥海山を望めます。

数字で見るユナイテッド計画

■ ユナイテッド計画の事業別売上規模実績及び見込み（単位：億円）



働く環境・制度

ユナイテッド計画では、従業員一人ひとりが自身の生活を大切にしながら、意欲を持って毎日の仕事に取り組めるよう、働きやすい職場づくりや福利厚生など各種制度の充実に力を入れています。個々の関心に沿った能力をさらに引き出せるよう、キャリアアップや資格取得にも積極的にサポートしています。時代の流れやみなさんの声を取り入れながら、今後も風通しのいい環境を整えていきます。



自己啓発支援

業務に資するとして会社が認めた資格について、資格取得費用を会社が負担します。



教育・研修制度

入社時には新入社員教育、入社後には職種別研修やビジネススキル研修を行い、スキル向上を全力でサポートします。



メンター制度

豊富な知識と実務経験のある先輩社員が仕事から社会人生活での相談事をサポートします。



キャリアコンサルティング制度

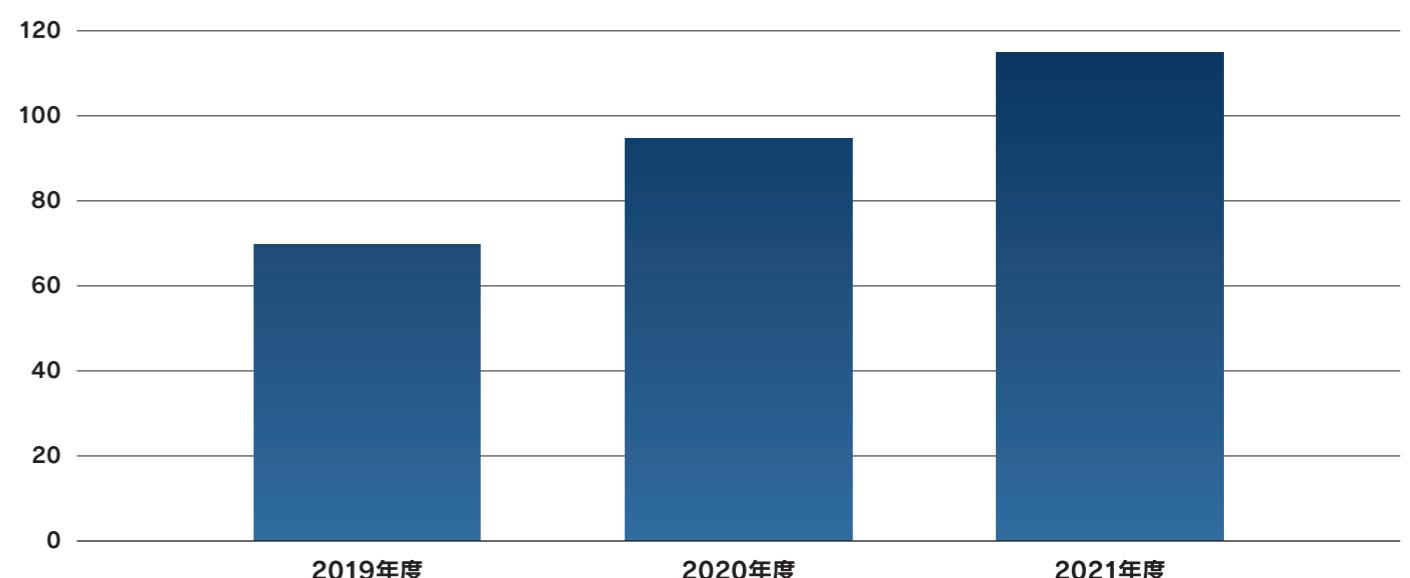
上司との面談時（4～5月）にキャリア等についての相談や情報共有を行います。



社内検定など

外部機関を活用した検定や資格取得を推進します。

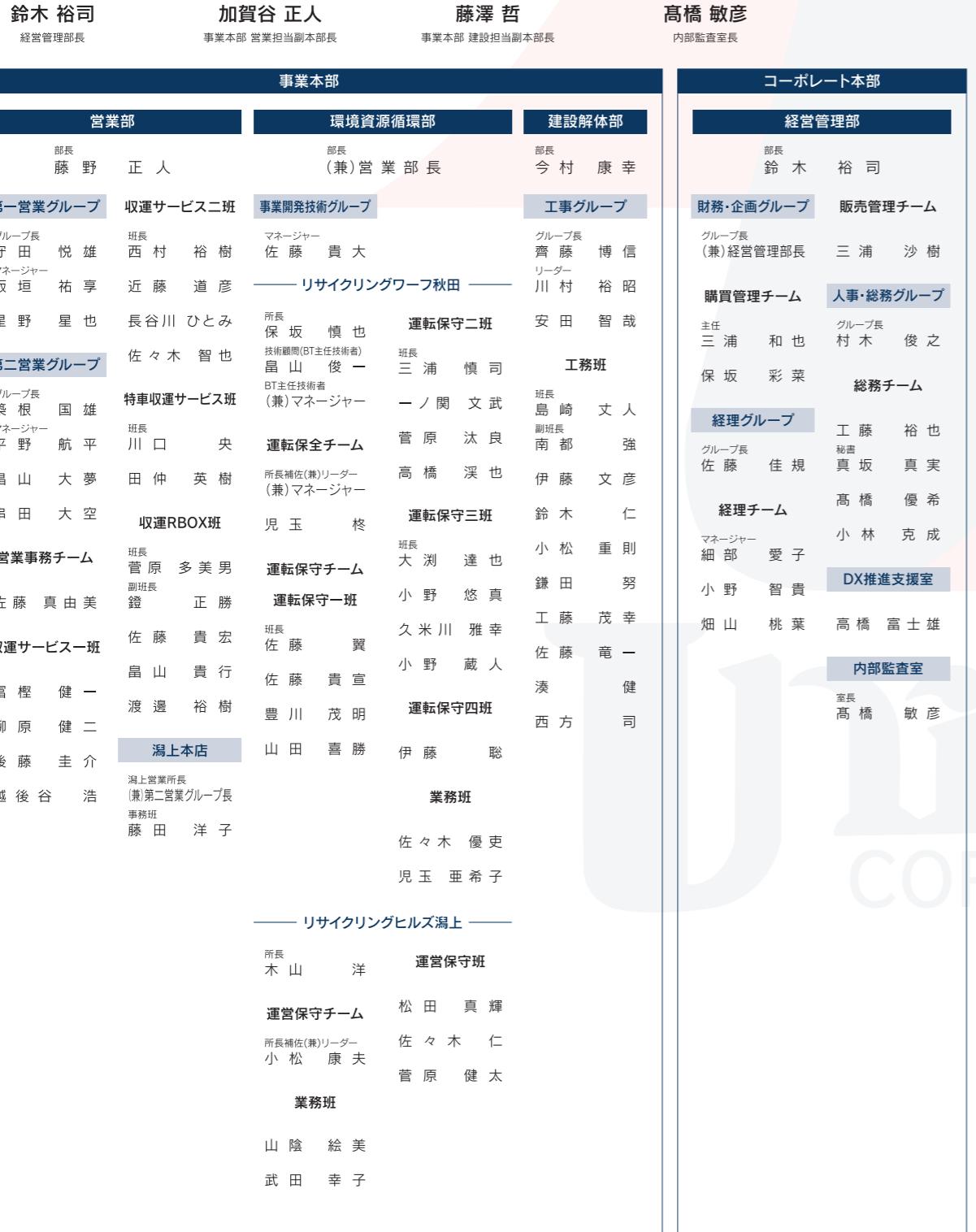
■ ユナイテッド計画の資産規模推移（単位：億円）



役員・社員一覧



執行役



会社概要

■ 代表取締役

代表取締役CEO 平野 久貴
代表取締役COO 平野 公貴

■ 役員

取締役CPO 池田 徹
取締役(社外) 安田 浩
取締役(社外) 渡邊 理
取締役(監査等委員) 井上 正樹
取締役(監査等委員) 仲村 厚悦
取締役(監査等委員) 前田 正人
取締役(監査等委員) 井上 正樹

■ 設立

昭和57年5月20日

■ 資本金

100百万円

■ 主要事業

土木・舗装工事における設計・施工・管理
産業廃棄物の收集運搬及び中間処理・リサイクル・最終処分
骨材販売業、総合建物解体業、一級建築士事務所、PFI事業
再生可能エネルギー開発・運営

■ 資格

特定建設業許可
産業廃棄物処分業許可
特別管理産業廃棄物処分業許可
産業廃棄物收集運搬許可
特別管理産業廃棄物收集運搬業許可
一級建築士事務所
第一種フロン類回収業者登録

■ 従業員

89名(2022年10月12日現在)

■ 本社

〒011-0904 秋田県秋田市寺内蛭根3-24-3
TEL:018-865-3776 / FAX:018-865-3778

■ 潟上営業所

潟上本店
秋田県潟上市昭和豊川楓木字楓13-1
TEL:018-877-3027 / FAX:018-877-3986

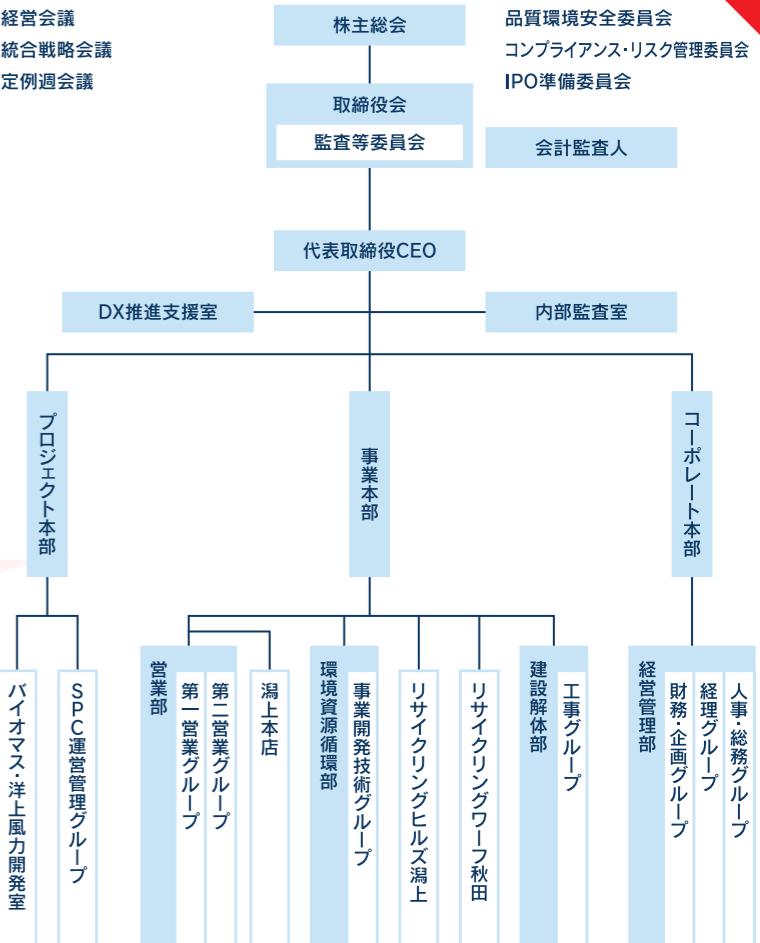
■ 潟上事業所

リサイクリングヒルズ潟上
秋田県潟上市昭和豊川楓木字苗取沢50-2
TEL:018-877-5770 / FAX:018-877-5794

■ 秋田事業所

リサイクリングワーフ秋田
秋田県秋田市向浜1丁目7-5
TEL:018-864-0668 / FAX:018-864-0680

組織図



事業所地図



With United

持続可能な社会へ向けて



ユナイテッド計画株式会社